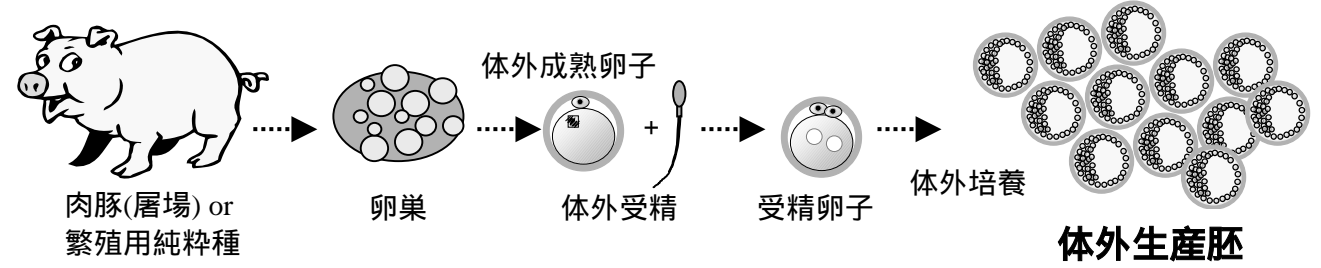
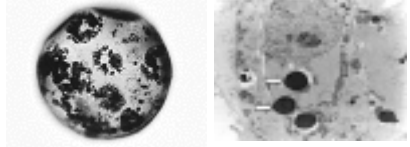


体外生産胚を用いた豚繁殖技術の高度化に関する研究

1. 豚体外胚生産技術の高度化に関する研究

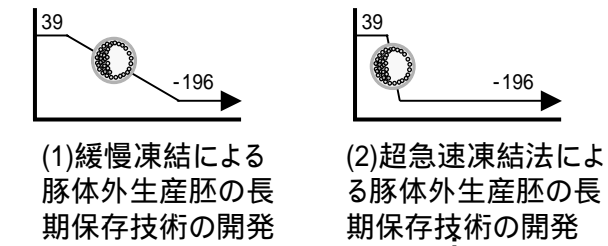


- (1) 屠場材料を利用した体外胚生産技術の改良
- 1) 胚の輸送条件(輸送液の改良 温度、時間、気相条件)の検討
 - 2) 胚の品質向上 ~ 栄養要求性・代謝活性の検討
 - 3) 胚への耐凍性の付与 ~ 脂肪滴との関連



- (2) 純粋豚からの体外胚生産技術の開発
- 1) 対象に応じた採卵手法
 - 屠場材料 (春期発動前)
 - 純粋豚 (発情回帰/ホルモン処置)
 - 2) ウイルス等感染の危険性の回避 (ブタ卵胞液・卵管上皮等を利用しない手法)
 - ウシ胎仔血清
 - ウシアルブミン

2. 豚体外生産胚の長期保存技術の高度化に関する研究



前処理法・ガラス化液の改良を行う

ステージによる耐凍性の違い 凍結傷害のメカニズムを明らかにする

3. 非外科的移植技術の高度化に関する研究

